

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 名古屋東急ホテル  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 三好 親  
 幹事 伊藤 健文  
 広報・会報委員長 吉田 玄

No. 34

### 地域を育み、大陸をつなぐ

## BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

#### 今日の例会

第1359回 平成23年4月19日(火)  
 クラブフォーラム(地区協議会報告)

#### 先週の例会

第1358回 平成23年4月12日(火) 晴  
 6RC合同例会

#### 黙祷

- ◆君が代
- ◆奉仕の理想
- ◆出席報告

会員	42(35)名	出席	30名
出席率	85.71%		
前々回	3/29(修正出席率)	94.44%	

### 名古屋東RC柳沢幸輝会長挨拶



皆さんこんにちは、本日は6ロータリークラブ合同例会と言うことで、クラブ設立の順に会長挨拶をする、との決まりだそうですので、トップバッターとして御挨拶させていただきます。

さて、3月11日におこった大地震は、その直後に発生した巨大津波と共に北は青森県から、南は千葉県に至るまで実に約500キロ以上にわたり、東日本に未曾有の大被害をもたらしました。

現在わかっているだけでも、3万人に近い方がたが、お亡くなりになられたり、未だに行方不明であると聞いております。また、人的・損害のみならず、経済的損害は量り知れないものであります。

この大災害に命名された、「東日本大震災」によって、犠牲となられ、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げると同時に、被災された方々や、そのご家族、関係

者の方々に、心からお見舞い申し上げます。幸いにして、この中部地区では経済的被害は除いて直接の被害は、ありませんでした。

さて、皆様、我々ロータリアンは、今こそロータリー精神を発揮するべき時ではないでしょうか。同じ国土に住む人間として、出来る限りの援助を被災地域に、行っていこうではありませんか。

既に皆様がたは、さまざまな形で、個人的にも、各クラブでも援助活動を行っておられると思いますが、どうかその活動を一層強化していただき、そして被災されたかたがたが、一日も早く安心安全の日々を取り戻すためにも、継続的な支援をおこなって行こうではありませんか。ぜひとも、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の合同例会のお世話をいたしている千種ロータリークラブの皆様には厚くお礼申し上げます。



### 名古屋和合RC加治佐健二会長挨拶



「名古屋和合RC創立40周年記念事業として、東日本大震災に義援金を寄付。」

本日の6RC合同例会の開催を担当していただきました、千種クラブの皆様にお礼を申し上げます。

さて、和合クラブは来年3月に創立40周年を迎えるにあたり、実行委員会が既に大綱を固めていましたが、このたびの東日本大震災の深刻な状況を鑑みまして、記念式典・講演会・パーティーを取り止め、40周年記念

事業の一つとして、近日中に1,000万円の義援金を寄付させていただき予定です。

和合クラブの会員一同の心が晴れ晴れとなっているところであります。



### 名古屋名東RC奥 佳澄会長挨拶



「櫻と千利休」

6RC 合同例会開催に際しましてはホストクラブ、名古屋千種RC・三好親会長、伊藤健文幹事はじめ会員皆様様の御厚情、御采配、御尽力、御友情を賜りました事。

そして、合同例会参加クラブ様との貴重なる時の流れに同席の荣誉賜りました事、名古屋名東RC 会員一同、衷心より感謝御礼申し上げます。

さて、大自然は卯月空櫻花爛漫の色彩共演空間、真に感動感銘 感激空間！櫻をモチーフとしての印象的な歴史物語として関白太政大臣・豊臣秀吉（天文6年・1537～慶長3年・1598）と千利休（大永2年・1522～天正19年・1591）との茶道哲学対話の中、ある日、秀吉は花材として櫻花咲き誇る一枝を大鉢に飾る様に御所望。秀吉の飾花のイメージは花器に枝を概念的に生ける姿を想像。しかしながら、利休は一枝、手に取り水面に花卉のみを散らし、その脇に一枝を。概念超越演出。一片の花卉の美意識演出に秀吉は感服！時代経過の中、待庵と黄金の茶室。黒楽と赤楽の如く精神美学、精神哲学の対立。「世の中に 茶飲む人は 多けれど 茶の道を知らぬは 茶にぞ飲まるる」（利休）。やがて、秀吉より切腹を命ぜられる。天正19年2月28日、辞世の句「人生七十力困希咄 吾這寶劍 祖佛共殺 堤ル我得具足ノ一太刀 今此時ゾ天二抛」。

最後に本年度クラブ行事の課題の中、会員増強の経過報告を。

坂本精志（元東名古屋分区ガバナー補佐）会員増強委員長の目標宣言：入会者18名。現17名達成。間もなく18名、目標達成予定。



### 名古屋昭和RC乃一 稔会長挨拶



本日は年に一度、特に縁の深い6つのクラブの会員が一同に会し、友愛を深め合うという意義のある例会です。

親クラブを始め、兄弟クラブの皆様には日頃より何かとご支援、ご指導いただきこの場をお借りしてお礼申し上げます。

又、本日ホスト役の三好会長始め、千種R.Cの皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

東日本大震災から1ヶ月が経ちました。この震災でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

マグニチュード9.0、津波の高さ37m、死者・不明者28000人、福島第一原発の放射能漏れ、1000年に1度という表現が示すとおり未だかつて経験した事のない大災害です。

1日も早い復旧・復興を祈ります。あの日以来“がんばれ日本”“がんばれ東北”という言葉が1日のうち何回も聞かれるようになりました。

人それぞれやり方は違いますが、あちこちで支援の輪が広がっています。

私達も何ができるのか自問自答し、行動に移す時だと思えます。

個人としても、ロータリアンとしても…。

私共の昭和クラブは今年度「笑門来福」をテーマにかかげて活動しております。

“笑い”をキーワードにクラブの活性化を計ろうと考えた訳です。

しかしながらこういった状況になりますと、その言葉がそぐわない、いっそ看板を降ろそうかとも思いましたが、あの笑いの王国、吉本興業の社長がホームページにこんな言葉をアップしています。

抜粋して紹介します。

このような時期に「お笑い」に何ができるのか「お笑い」のイベントを行うこと自体が不謹慎だとお考えになる方がいらっしゃることは覚悟しております。しかし「笑い」というものは元来、人を思いやり、支え合うという気持ちから生まれるものであり、一人一人が誰かと「つながっている」こと誰かが「そこにくくれる」という実感を分かち合うことで伝わっていくものであり、それは「生きていく意欲の交換」でもあると、私たちは信じています。

「笑い」のあるところには必ず、希望が生まれます。こんなときだからこそ、希望に光をあてていきたい。

こんなときだからこそ、「笑い」や「笑顔」が必要な

のだと改めて思った次第です。  
東北地方の人々に心の底から笑える日が1日も早く来る  
事を祈念します。



名古屋東山RC平下三郎会長挨拶



皆さん、こんにちは。東山RCの平下でございます。  
はじめに、本日6RC合同例会のホストをしていただき  
ます。三好会長はじめ千種RCの皆様、大変御世話に  
なります。心より感謝申し上げます。

さて、「年年歳歳花相似たり」と申しますが、人の移  
り変わりはあれども花は毎年同じように咲くというこ  
とで今まさに咲き誇っていますが、今年の桜は少し淋し  
く見えるのは私だけでしょうか？

この度の東日本大震災、未だに余震が続いています  
が、2520 地区岩手・宮城地方の83RC、及び2530 地区仙  
台地方の67RCのホームページを見ていますと、地区内  
すべての行事の中止案内や被災されたロータリアンの方  
々の訃報が掲載されていて、身につまされる思いが  
しております。

改めてご冥福をお祈りする次第です。

また、皆様方の業界にも、商品不足などの震災の影響  
が深刻な状況になってきていると思います。電力不足  
も重なりさらに状況が悪化することが懸念され、人間で  
はコントロールできない自然の驚異を、復興に合わせて  
今一度考え直す必要があると思います。

そんな中ではありますが、私共の東山RCは、和合RC  
をスポンサーとして1996年に地区内76番目のクラブと  
して発足し、今年で15周年を迎えることが出来ました。  
この間、歴代会長をはじめ会員皆さんの努力により、地  
域に根ざした活動が、少しずつではありますが成果を挙  
げてきているのではないかと考えております。これもひ  
とえに本日お集まりの皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と、  
心より感謝しております。有難うございます。

また、本日の合同例会は、いわば身内の例会です。子  
は親を見て育つと言いますが、これからも親の背中を追  
い続けながら、良いところを見習い精進していきたいと  
思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げま  
す。



名古屋千種RC三好親会長挨拶



皆さん、こんにちは！

本日は毎年恒例となりました合同例会で、沢山の方  
にご出席いただきホストクラブとして心よりお礼申し上  
げます。

昨年はお堀端に咲いた素晴らしい桜を見ながら、一番  
良い時期に開催致しました。

しかし、今年は会場がここ東急さんに移動でお花見は  
少し残念ですが・・・。

それより、今年は日本が大変な時の開催となってい  
ました。あれから概ね一か月経ちましたが、被災され  
た方々に於かれましてはまだまだ厳しい状況が続いて  
います。

本当に心からお見舞い申し上げたいと思います。

私達に何が出来るか判りません！でも、今こそロータ  
リアンとして、いや一人の人間として、思いやり、友情  
を發揮する最善の時ではないでしょうか！！

人それぞれ考え方、思いは違って当然であります。で  
もでも、今は理屈抜きで手を差し伸べるべきだと思います。  
じゃあ何をするか、何が出来るか、これも人それぞ  
れ違います。故に、皆さん自分が出来る事、身の丈に  
応じた事をすれば良いと思います。押し付けがましい援  
助、見返りを求めるが如くの援助ではなく、本当に思い  
やりの心での支援が何より大切だと思います。

世界中の人達に注目される中、思いやりの有る素晴ら  
しいロータリアンで在りたいと願って挨拶と致します。

本日は有難うございました。



## 名古屋昭和RC乃一 稔会長挨拶

次年度6R.C合同例会は昭和クラブが担当させていただきます。

次年度山田敏雄会長、伊藤彰二幹事を中心として例会のお世話をさせていただきます。

開催日は2012年4月9日(月)、会場は本日と同じ東急ホテルを予定しております。

どうか皆様ごぞって参加されます事、お願い申し上げます。



## ニコボックス

名古屋東RC	会長	柳澤 幸輝君
	幹事	安藤 東元君
名古屋和合RC	会長	加治佐健二君
	幹事	林 邦司君
名古屋名東RC	会長	奥 佳澄君
	幹事	中村 公彦君
名古屋昭和RC	会長	乃一 稔君
	幹事	木下 実君
名古屋東山RC	会長	平下 三郎君
	幹事	山元 康裕君

6RC合同例会お世話になります 宜しく願致します

三好 親

合同例会 ようこそ!!

林 正路

春の家族会 出席有難うございました お疲れ様でした

小山 雅弘

ホームクラブご無沙汰しました

油田 弘佑 足立 一郎 萩原喜代子

池森 由幸 伊藤 健文 加藤 重雄

川端 圭 喜多 康夫 小林 英毅

小杉 啓彰 大口 弘和 大川 勝平

佐久間良治 鈴木 理之 鈴木 聖三

高橋 智尚 舎人 経昭 和田 正敏

吉田 節美 吉田 玄

6RCの皆さんにお会いして・・・

山本 眞輔

結婚記念日祝い

合計 64,000円

## ガバナー月信 ④より

### ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2760地区ガバナー田嶋好博

3月11日に発生した東日本巨大地震に被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。同時に犠牲になられた方のご遺族の方々に対してお悔やみ申し上げます。

当日私は地区の環境保全委員長会議に出席していましたが、地震を感じませんでした。

しかし終了後ガバナー事務局に戻りましたところ房総沖を震源とする余震で、ビルが大きく揺れました。

テレビで大津波が襲う様子を目の当たりにし、その惨状に大きな衝撃を受けました。

当地方では東海、東南海など大地震が近い将来発生することが確実とされていますが、明日は我が身ととも他人事とは考えられませんでした。

会員の皆様にはガバナー会での義援金について積極的なご協力をいただき有難うございました。ガバナー会以外第2720地区(岩手・宮城)、第2730地区(福島)に直接義援金、支援物資をお送りいただくこともご協力くださいますようお願い申し上げます。

会員の皆様が所属される企業等を通じて多額の義援金を提供頂いていることにつきましても厚く御礼申し上げます。

当地区としては、被災地での物資等の輸送支援のため、国土交通省航空局が認可した一団体(=市民キャビネット災害支援部会)の傘下で市民防災ヘリコプターチームとして活動している「全国自家用ヘリコプター協議会」のヘリとトラックを使っての輸送支援に地区資金で資金援助する計画を進めています。

被災された方々の受入れなど今後さまざまなご協力をお願いすることもあると思いますが、よろしくようお願い申し上げます。

最後に5月開催の世界大会において水野吉紹地区幹事が青少年交換についてスピーチをしますが、災害時における青少年交換のあり方も大きなテーマになると思います。私は指紋が薄くなって入国が困難なため、世界大会への参加を迷っていましたが、応援のため出席しようと思っています。

次回例会 平成23年4月26日(火)

名古屋市科学館(プラネタリウム観賞) 料亭 つたも